



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2023年
(令和5年) 12月号
NO. 196

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- 介護給付費分科会 <2面>
- 施設紹介(ふくろうの杜・岐阜県) <3面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>
- 施設相互視察に関するアンケート調査の概要 <2面>
- 施設紹介(しょうなあさひが丘・愛知県) <3面>
- 事務局から <4面>
- 尾島の視点 <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>

新たな人材確保対策創設ならず 複合型サービス導入見送り

介護給付費分科会「運営基準」改正案を審議

2024年度の介護報酬改定に向けて話し合う厚生労働省の介護給付費分科会は12月4日、省令事項の改正が必要な運営基準の改正案を審議し、大筋で了承した。

厚生労働省は同分科会に「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の改正等に関する事項について」と題した文案を提示。介護老人保健施設(老健)と介護医療院の通所リハビリテーション事業所のみなし指定▽看護小規模多機能型居宅介護(看護多機)の「通い」「泊まり」に看護サービスが含まれる旨の明確化▽福祉用具の貸与・販売の選択制における利用者や家族への十分な説明の義務付け▽居宅介護支援においてケアマネジャーが少なくても2カ月に一度は利用者宅を訪問することを前提にテレビ電話などを使ったモニタリングを可能とする、などの内容が盛り込まれた。

生産性向上と職場環境改善

介護老人福祉施設(特養)など施設系サービスに関しては「ユニット型施設の管理者は、ユニットケア施設管理者研修を受講するよう努めなければならない」と記された。「ユニットケアの質の向上」がうたわれる半面、大きな役割を果たすユニットリーダーに関する言及はなく、管理者の研修受講も「努力義務」とどまった。介護ロボットやICTの活用による介護現場の生産性向上に向けた観点では、利用者の安全や介護の質の確保、介護職員の負担軽減につながる方策を検討する委員会の設置を3年の経過措置期間を設けた上で義務付ける。併せて生産性向上に先進的に取り組んでいる

特定施設(有料老人ホーム)について、現行の人員配置基準である「3対1」を「3対0.9以上」に緩和する特例を設ける。

職場環境の改善に関しては、先だって11月30日の同分科会で介護職員の処遇改善に向け、現行で3種類ある加算を組み合わせる形で「介護職員等処遇改善加算」(新名称)に一本化することが厚労省から提案されている。職場環境改善や資格・経験に応じた賃金体系の整備などに応じて4段階の加算区分を設ける。特養では7・6・12・6%の加算率が予定される。運営基準改正案に対して委員からは、ケアマネジャーにテレビ電話によるモニタリングを認めることなど一部の論点について「見切

り発車ではないか」といった意見が出された。厚労省はパブリックコメントなど一連の手続きを経て来年1月に省令公布、同4月ないし6月に施行するとしている。

多床室の室料負担に反対論

また厚労省は同日、24年度改定の「目玉」とみなされていた新たな介護人材確保対策としての「訪問」と「通所」を組み合わせた新しい複合型サービスの導入を見送る方針を明らかにした。「実証的な実施調査は行ってきておらず、個別の要件設定や規制緩和の効果等についての具体的な議論が行えていない状況」を理由に挙げた。同サービスにはこれまでの議論でも「地域での協働をかえって阻害

する」といった意見が出ており、同日の会合でも「妥当な判断だ」とする声が多数を占めた。さらに「多床室」の室料負担が議論的となった。厚労省は介護医療院と老健の療養型、その他型では死亡退所が多く事実上の生活の場として選択されているとして一定の所得がある入所者に室料負担導入を提案。「在所日数が一定以上の入所者には室料負担を求めべきだ」という声がある一方、「カーテンによる仕切りのみで6・4・8平方メートルの狭い空間を『生活の場』とは呼べない」などとして反対する意見が目立った。昨年末に介護保険部会がまとめた「介護保険制度の見直しに関する意見」では、在宅との負担の公平などを踏まえ、介護給付費分科会で「次期計画に向けて結論を得る」とされた経緯がある。12月5日、政府の経済財政諮問会議で示された全世代型社会保障構築に向けた改革工程の素案は「多床室の室料負担の見直し」を24年度に実施する取り組みとして明記した。

赤枝会長 浅尾政調会長代理と懇親



11月8日、自民党政調会長代理の躍進の集いにて、浅尾慶一郎参議院議員と懇親を深めた赤枝眞紀子会長

11月8日、ホテルニューオータニ芙蓉の間において浅尾慶一郎参議院議員・自民党政調会長代理の躍進の集い(東京フォーラム2023)が開催された。推進協からは赤枝眞紀子会長が参加し懇親を深めた。

冒頭、自由民主党副総裁である麻生太郎衆議院議員の特別講演が行われた。パネルディスカッションでは浅尾議員と、ロバート・アラン・フェルドマン・モルガン・スタンレーMUFG証券シニア・アドバイザー、近藤誠一近藤文化・外交研究所代表、渡部恒雄笹川平和財団・上席研究員の4名により、昨今の世界経済情勢について意見交換がなされた。また、近藤代表には文化庁長官の経歴を踏まえ、日本文化のソフトパワーについての説明があった。

浅尾議員はかねてより赤枝眞一前会長が落選中も応援を続け、交流を重ねている。また、9月22日付けで自民党政務調査会長代理に就任している。

介護大学校から

【第1期分校】

「岐南仙寿うれし野分校」(岐阜県)は12月6日より介護過程Ⅲのスクーリングが始まり、令和6年1月17日(水)の医療的ケアに至るまで、分校の職員(有資格者)が講師を担当する分校主体型で展開しています。

【第2期分校】

▽しよなあさひが丘分校(愛知県) 9月開講
▽飯島分校(秋田県) 10月開講
▽明尺苑分校(千葉県) 12月開講
▽天空の杜分校(福岡県) 令和6年2月開講

【第3期分校】

▽慈眼寺園分校(鹿児島県) 令和6年1月開講
▽湘南くすの木分校(神奈川県) 令和6年1月もしくは2月開講
▽みんなと暮らす町分校(神奈川県) 令和6年4月もしくは5月開講

【第5期分校追加募集説明会開催】

11月21日に追加募集説明会を開催しました。介護大学校の取り組みに対し、関心を寄せてくださる施設様・事業所様が増加しており社員のモチベーションアップに繋がっています。合同説明会や個別説明会など、施設様・事業者様の要望に耳を傾けながら、よりよい関係線を構築していきたいと思っております。

【1月の研修予定】

▽【新規】ユニットケア基礎研修
1月9日(火)、1月23日(火)
▽介護福祉士実習指導者講習会
1月11日(木)・18日(木)・25日(木)
▽介護福祉士国家試験受験対策
前講座1月12日(金)・22日(月)

介護給付費分科会

ユニットケアの質向上、普及促進へ 特養など報酬改定の方向性を議論

24年度の介護報酬改定に向けて議論する厚労省の介護給付費分科会は11月16日、介護老人福祉施設（特養）や介護老人保健施設（老健）など施設系サービスに関する改定の方向性を話し合った。

特養について厚労省から示された論点は①緊急時の医療提供体制の整備等②透析が必要な入所者の送迎・付き添いの評価③小規模介護老人福祉施設等の基本報酬の見直し④小規模介護老人福祉施設の配置基準の緩和⑤ユニットケアの質向上・普及促進の計5つ。①の論点では、特養の配置医師が不在時に急変時対応が難しく、3割の施設が原則救急搬送としている実態があることから、早朝・夜間や深夜に限られている配置医師緊急時対応加算について、日中の駆けつけ対応を評価できるようにする見直しが提案された。②は日常的な観察や通院の送迎が必要な人工透析患者について、7割の施設が「入所を断る」方針であることへの対応案として示され、おおむね肯定的に受けとめられた。

リーダー研修義務化見送り

⑤の論点で厚労省は、ユニットリーダー研修の受講促進に向けて研修実施主体の都道府県に対し、複数の研修実施団体に委託できることを周知する▽ユニットケア施設管理者研修の受講を努力義務とする▽昼間間の勤務（2ユニット一体運用）が可能であることを明確化する——という3点を提案した。2ユニット一体運用は人員削減など「合理化」を目的とした方策ではないが、この日の会合では委員から「一人一人との馴染みの関係」が維持できるよ

十分な検討を「人材不足への対応ではないか。昼間でも2ユニットを1人で見ることになるなら反対だ」といった意見が出された。

ユニットケアの質向上・普及促進のためにはユニットリーダー研修の義務化など踏み込んだ具体的方策が求められるが、今回の厚労省提案には盛り込まず、管理者研修も「努力義務」にとどまった。深刻さを増す一方の人材不足問題への対応として介護ロボット・ICT機器の活用やデジタル化が進められつつあるが、ユニットリーダーを含む介護職員一人一人のスキルを上げることが生産性向上につながるの観点もあるだけに、一層の議論の深化が求められる。

「介護は国の重要インフラ」

同日の分科会では今年5月に行われた介護事業経営実態調査（実調）の結果が示された。昨年度決算に基づく税引き前収支差率（黒字率、補助金を含まない）は特養がマイナス1・0%、老健がマイナス1・1%と、物価高騰などの影響からともに初めての赤字に落ち込んだ。全国老健協会の古谷忠之委員は「施設の経営努力では追いつかない」として基本報酬の増額と職員の処遇改善を求めた。

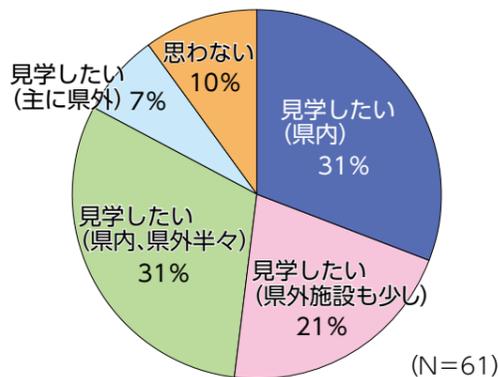
一方、実調では全サービス平均ではプラス2・4%の収支差率となったことから、健保連常務理事の伊藤悦郎委員は「現役世代はこれ以上の負担増には耐えられない。トータル報酬を上げる環境にはない」と述べた。また日本医師会常任理事の江澤和彦委員は「介護は国の重要インフラ。基本報酬を含めた介護報酬の大幅引き上げが必要だ」と訴えた。

施設相互視察に関するアンケート調査の概要

推進協は会員施設へ新規事業として「施設相互視察」に関するアンケート調査を行った。

①コロナが改善すれば、他の施設を見学したいか

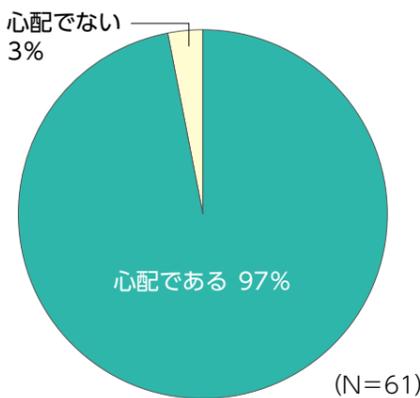
- ・見学したい（県内） 31%
- ・見学したい（県外施設も少し） 21%
- ・見学したい（県内、県外半々） 31%
- ・見学したい（主に県外） 7%
- ・見学したいと思わない 10%



9割の施設が見学をしたいと答えた。見学のニーズが高いことがうかがえる。

②他施設への見学は迷惑をかけないか心配

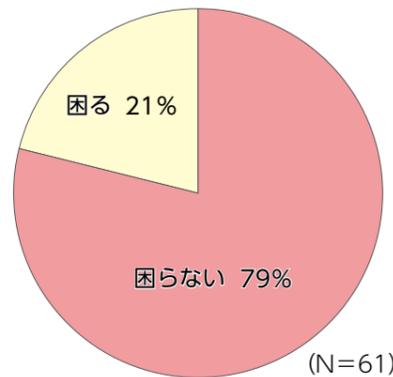
- ・心配である 97%
- ・心配でない 3%



これらの事から、「自施設に来てもらうのは構わないが、他施設に行くことは迷惑になるのではないか」と考える施設が多く、ミスマッチが起きている状況がうかがえる。

③他施設から自施設への見学について困るか

- ・困らない 79%
- ・困る 21%



相互の施設見学を検討

相互に施設見学をすることについて、9割超が希望する結果となった。

「同じ職種同士の交流の場があると、悩みの共有・相談などできる。特に他施設の介護職・看護職とはなかなか交流の機会がないため、刺激になると思う」や、「自施設での取り組みの再検討や改善、見直し、職

員のやりがいや刺激に繋がることを期待する」というコメントも寄せられている。

推進協ではアンケートの結果を受け、多くの施設が希望する施設見学を実施するため、両者を取り持つ事業を、来年度にも新たに実施したいとしている。

尾島の視点

叔父の教え

今から30年ほど前、私は未経験者として介護の世界に入りました。介護に関する知識もほとんどなく、右往左往をしていた新人時代が今でも昨日のように思い出されます。

ある日、叔父が私にこう尋ねてきました。「どうだね、介護の仕事は？」私は叔父に疑問に思っていることを投げかけました。「暴力行為のある利用者さんがいてね、職員は皆、その方と距離を置いて

いるの。あなたも殴られないように気をつけなさい、危ないから。何であんな暴力を振るう人のお世話をしなくてはいけないのかしら。そんな話を先輩職員から聞いて、どうしたらいいか、わからないなっちゃった」と。すると叔父は、「私はいつも仕事をしながら心がけていることがある。それは、罪を憎んで人を憎まずってこと。あなたも介護の仕事をしているなら、介護を必要としている人を護りなさい。その人も決して暴力を振るいたい訳ではないと思うよ。なぜ、そんな行動に出るのか、よく考えてごらん。憎むのはその人ではなく、そうさせている原因こそ罪なのではないかと思うよ」

叔父は弁護士です。法の下の平等、基本的人権の尊重の思いを誰よりも強く抱いています。「罪を憎んで人を憎まず」。その日以来、私は暴力行為があるといわれる利用者さんに笑顔で接してみることになりました。日々諦めずに接したところ、利用者さんも笑顔を返してくださるようになったのです。

皆さんは介護職として、どう利用者さんに向き合えばよいと考えますか。叔父の教えは「介護の基本」そのものだと思います。

注目研修

▽ユニットリーダー研修実地研修施設選定調査票50項目について理解を深めるセミナー開催準備中（令和6年1月より開催予定）
※後日ホームページへアップ予定

岐阜県 社会福祉法人 和敬会倶楽部

特別養護老人ホームふくろうの杜

～「和して敬い、真の心で寄り添う介護を実践する」 「福祉に勤しむことで社会に参加する」～

【施設概要】

住所：岐阜県中津川市苗木4002番地
電話：0573-62-1250 FAX：0573-62-1253
URL：http://fukurounomori.jp/
【特養】90名(9ユニット)
【ショートステイ】10名(1ユニット)



栗きんとん



朴葉寿司

【地元の名物】
江戸時代は苗木藩の中心にあり岩を基盤とした城で有名な苗木城址があり、城址から「苗木さくら公園」一帯は花見や山菜採り、遠足で賑わいます。展望台からは、恵那山を正面に中津川の町が見下ろせます。五平餅、朴葉寿司、栗きんとんなどが名物です。

東に地域のシンボルである恵那山、北に御嶽山、西に笠置山を望み、南には底深く木曾川が流れる風光明媚な場所にあります。施設周辺には、栗畑、田畑が広がり、風水害の影響をきわめて受けにくい環境に立地しています。坂道の多い地域で車が主な移動手段のため一見大変な田舎のように見えますが、車で3分ほどの所に衣料品店、ホームセンター、ドラッグストア、スーパーマーケットなどが揃っています。



施設外観

【施設の紹介】

【施設理念】
「和して敬い、真の心で寄り添う介護を実践する」「福祉に勤しむことで社会に参加する」を掲げ、入居者様のその人らしい暮らしを目指し、家族様と多職種職員がしっかりとコミュニケーションを取りながら知識と技術を尽くして看取りまで支援しています。

【ベランダで野菜や花の栽培】
在宅時から畑で野菜を作っていた方や、花の好きな方によるベランダでの野菜や花の栽培がその方々の日課となっています。



ベランダ菜園

職員は必要などころを支援します。野菜の成長や色とりどりの花を見て他の入居者様や職員も癒しをもたらしています。家に帰ったくなる入居者様には、「花を見に行きましようか」などとお誘いし落ち着いていただけるきっかけにもなっています。

【五平餅会】
新米の採れる時期に必ず行うのが「五平餅会」です。コロナ前は、入居者様の家族会が主催して、ユニットごとに入居者様と家族様、家族様同士の交流会として開催していましたが、現在



コロナ前の家族交流会



五平餅

は、職員の知人の五平餅屋さんに依頼し、ユニットのベランダで焼いて提供しています。五平餅のたれの香ばしい匂いが施設中に漂い、日ごろはお粥を食べている方も、食欲のない方も3本ほどをペロリと食べてしまわれます。

【上田範子理事長兼統括施設長から】



▽安心できる暮らしを創る
地域の在宅医療に携わる前理事長が、安心して笑顔で暮らせる施設を造りたいとユニットケアを自ら学び開設したふくろうの杜。入居者様が楽しみを見つけて、役割を感じながら自宅の離れとして家族様とともに最期を迎えられるよう支援していきます。また心の拠り所として観音様とお薬師様をお迎えし亡くなられた入居者様と職員・役員の冥福を祈り、家族会や家族OB会の方々と共に7月の開設記念の際に法要を執り行っています。

愛知県 社会福祉法人 春生会

特別養護老人ホームしょうなあさひが丘

～ 共生 ～

【施設概要】

住所：愛知県春日井市庄名町918-1
電話：0568-29-9922 FAX：0568-29-9031
URL：https://www.asahigaoka-fukushi.or.jp
【特養】100名(10ユニット)介護大学校(実務者研修養成施設)
【ショートステイ】20名(2ユニット) 【養護】60名



施設外観

【施設の紹介】

名古屋市の北東部に隣接する春日井市の中央に位置し、田園も多くのどかな地域に建っております。建物は2階、4階がショートステイ20床を含む特養100床(全室個室ユニット型)、5階が養護老人ホーム60床(全て個室)の複合施設となっております。1階事務共有部には居宅介護支援事業所も併設しています。

また、地域交流スペースを有しており、施設内のイベントはもちろん、地域の方の催しやクラブ活動などにも利用していただいております。

【地元の名物】
全国の約8割のシェアをほこるサボテンが有名で、サボテン関連の和洋菓子や麺類もあります。また、平安時代の能書家である小野道風生誕の地としても有名。道風記念館は全国的にも数少ない書専門の美術館ですので、ご興味があればお立ち寄りを。

【法人理念】
「共生」を法人理念とし、ノーマライゼーションの考えに基づいてサービスの提供すること、利用者様、入居者様、ご家族、地域の皆さまが、安全、安心に、そして将来に希望を持って暮らせる街づくり、社会づくりに貢献してまいります。

【普段の生活】

ユニットリーダーが中心となり、入居者様の生活全般をサポートさせていただきます。ユニットでみられる日常の様子を一部紹介いたします。日中ご自分の部屋で編み物をして過ごされる方、新聞を隅々までゆっくり読まれる方、職員と一緒に洗濯物を畳んでくださる方、中にはお好きな将棋を楽しまれる入居者様もいらっしゃいます。どこにもある日常の風景ですが、皆様が入居される前から当たり前にされていた生活が入居後も送れるよう、私たち職員は入居者様ができる事を見守る姿勢で日々接しております。



将棋を楽しむ方



新聞を読む方

【ハロウィンのお祭り】
それぞれのユニット職員が趣向を凝らしたイベントを毎月行っております。その中の一つをご紹介します。ハロウィンのイベントはテレビなどでも取り上げられるようになり、興味を持たれる入居者様も増えてきました。そこで、ハロウィン衣装で職員が仮装し、入居者様と一緒に楽しみました。また、ハ



ハロウィンのお祭り

ロウインのデコレーションと一緒に写真撮影も行いました。この日は、おやつとして焼き芋にバニラのアイスクリームを添えて提供したところ、皆さまに大変好評をいただきました！



【進藤元博施設長から】

▽真の個別ケアに向けて
新しくご入居される方におきましては、アセスメント情報に加え、ご自宅での暮らしや習慣、更に施設独自の『私の生活史シート』をご家族と一緒にできる限り詳しく聞き取りを行うことで、不安なお気持ちで施設へ入居された後でも、家族のように温かく接し、習慣やお好きなことが継続して行えるようサポートしております。その上で、時折イベントや外出など四季を感じる機会を設けることで、楽しみや安らぎを肌で感じながら、「この施設で暮らせて良かった」と、心から思っていただけのように努めてまいります。

施設紹介コーナー 投稿料 1万円GET 投稿原稿 募集中! 投稿用紙のフォーマットへ 必要事項を入れるだけ 詳細は推進協ニュース施設紹介担当書宛 Tel: 045-577-4212 Mail: info@suishinkyo.net

介護「ユース・ダイジェスト

10月26日(土)
11月25日(土)

■ユニット型特養の利益率が3・7%に下落(10月30日)

福祉医療機構は22年度の「特別養護老人ホームの経営状況(速報値)について」を公表。サービス活動増減差額比率(利益率)は従来型特養でわずか0・5%となり、ユニット型特養も3・7%に下落した。12年度はそれぞれ5・2%、8・4%であり、いずれも過去10年で最低水準に落ち込んだ。

■厚労相 介護職の賃上げは「2段階」で(10月31日)

武見厚労相は閣議後会見で介護職の賃上げについて問われ、当面の手当としての経済対策に続けて3年後を見通した介護報酬改定が「つながると述べ、2段階で考えていただきたい」と答えた。

■財務省 介護保険料の見直しなどの改革を提言(11月1日)

財政制度等審議会財政制度分科会に提出した資料で、介護報酬改定を巡り負担能力に応じた1号保険料の引き上げや利用者2割負担の範囲拡大などを方向性として盛り込んだ。

■介護職の賃上げを盛り込んだ経済対策を閣議決定(11月2日)

政府は「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を閣議決定した。介護分野の人材確保に向けた賃上げを「喫緊の課題」と位置づけた上で、介護報酬改定による対応を見据えつつ「必要な財政措置を早急に講ずる」とした。

■厚労省 介護職員の処遇改善に関わる加算を一本化(11月6日)

介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算について、制度が複雑で事務が煩雑との指摘があるとして同日の介護給付費分科会で「一本化」を提案し、おおむね了承された。

■新しい「複合型サービス」は地域密着型で(11月6日)

訪問と通所と組み合わせた新しい複合型サービスの導入について厚労省は、地域密着型サービスと位置付けるなど制度の骨格を介護給付費分科会で示した。

■推進協 静岡支部が研修会と見学会を開催(11月7日)

会員も合わせ約20名が参加し、従来型施設から新築移転され、新たに個室ユニット型施設として整備された「特別養護老人ホーム一空園」を見学し、運営法人である八生会のユニットケアへの取り組み状況について講義を受けた。

■経営実態調査 特養の収支差益がマイナスに転落(11月10日)

厚労省は今年度実施した「介護事業経営実態調査」の結果案を介護給付費分科会の介護事業経営調査委員会に報告し、了承された。新型コロナや物価対策に関する補助金を除くと、22年度決算で特養はマイナス1・0%となった。老健は同じくマイナス1・1%となり、ともに初めて赤字に転落した。

■武見厚労相 介護職「月6000円」賃上げに言及(11月14日)

介護職員を対象に月額平均6000円相当の賃上げを行う処遇改善支援事業を含む補正予算案が11月10日に閣議決定されたことについて会見で問われ、「必要な予算を盛り込んだ」と述べた。また介護報酬改定に向けた取り組みに関しては「現場の方々の処遇改善に構造的につながる仕組みを構築する必要はある」と話した。

■介護給付費分科会で「ユニットケア」が議題に(12月16日)

特養、老健など施設系サービスを中心に厚労省がそれぞれ論点と対応案を提示。特養では緊急時の医療提供体制の整備や人工透析が必要な入所者の送迎・付き添いの評価などの論点に加えて「ユニットケアの質向上・普及促進」が取り上げられ、ユニットケア施設管理者研修の受講を「努力義務」とする案などが示された。

■介護報酬の大幅増額を求めて16団体が集会を開催(11月17日)

日本介護支援専門員協会など介護関係16団体が発起人となり、東京都内で「介護現場で働く人々の暮らしとやりがいを支える集会」を開催した。介護現場で働く人々の賃金を継続的に上げ、介護事業者が健全な経営が行えるよう、決議文を採択した。

■全国老協 プラス9%の報酬改定を要望(11月17日)

全国老人福祉施設協議会は「令和6年度介護報酬改定率に係る要望」を厚労省の間際一郎老健局長に提出。プラス9%の引き上げ、または物価・賃金スライドによって毎年報酬を見直すシステムを作ることなどを求めた。

■財政制度等審議会 「メリハリをつけた報酬改定」を(11月20日)

来年度予算編成に関する建議で介護報酬改定に触れ、介護事業経営実態調査では介護事業所の22年度の収支差率を3・0%(補助金含む)としているが、特別費用・特別収益を除いた収支差率は4・7%で中小企業の水準を上回ると指摘。「全体としてメリハリをつけた報酬改定」とすることに現役世代の保険料負担増を最大限抑制すべきだと記述した。

■介護保険の利用者負担「原則2割」の検討を求める(11月20日)

財政制度等審議会は来年度予算編成に関する建議で、介護保険制度の持続性確保の観点から利用者2割負担の範囲拡大を「ただちに結論を出す必要がある」と記述。また第10期介護保険事業計画期間(27~29年度)に向け、原則2割負担化や3割負担の判断基準見直しを検討していくべきだとした。

■推進協 第5期分校募集説明会2を開催(11月21日)

10月に続き、第5期分校募集説明会の第二弾。通所介護やGH等の民間事業者の参入件数が多い事業所も対象としたところ、新たに20件超の参加申込があった。実際の申込に繋がるかどうかは不明。

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 定年年齢を越えた職員の採用

【今月の相談内容】

介護職員を募集したところ、70歳の女性が応募してきました。時間や曜日制限がなく勤務が可能ということでした。しかし、当施設の定年は65歳です。定年年齢を越えた職員の採用は行ってきませんでした。今後、このような職員を採用する場合、どのようなことに注意すればよいでしょうか。

【回答】

これからの人手不足を考えた場合、私的には、労働人口年齢は実質上昇してくると考えます。人手不足を外国人のみで補うことは、令和6年度からの外国人技能実習制度等を考えた場合でも限界があると感じます。そこで、今回のような応募があった場合は、健康上のことなどに配慮し、以下のようなことが考えられます。

- ・1年以内の有期契約職員として採用し、契約が更新継続された場合、将来的に有期契約から無期転換とすることがある場合、協体調不良などがあった場合、協議を補助することが可能な親族などが身元保証人として存在しているかどうか
- ・行う仕事と、行わない仕事を区分し、雇用契約を行うかどうか
- ・定年退職となる職員との整合性をどう捉えるか。継続勤務の申し出があった場合、70歳以上でも更新するかどうか
- ・将来的に定年制を廃止することは制度設計しておくことが必要でしょう。現在の制度は、定年制を前提に考えた場合、複雑な就業規則になる傾向にあります。職員を定年制により退職させたとしても、次世代が育成されていないなどの課題はつきまといまいます。また、ICTや介護ロボットと業務効率化することにより、時間が確保できようになるならば、これまで行っていないような職務について、介護サービスの質を向上させるための専門性のある職務が増加していくと予想されます。人手がいらなくなるという発想にはいたりません。



推進協監事・特定
社会保険労務士
栗田淳二

事務局から

年末の大掃除がいつも大変なので今年は11月から少しずつ始めてみました。実は掃除の裏技のようなものが大好きで昔からテレビを見ると直ぐに試してみます。今回は私が試した「汚れ落としが面倒な箇所の掃除法」をご紹介します。

▽電子レンジ

コップにお水半分とお酢を半分入れてラップをせずに5分加熱。10分、15分位ドアを開けずに蒸らす。その後かたく絞った布巾で拭く。レンジンして汚れを温めてあるので通常より楽!

▽シンクと水道の蛇口
クエン酸水(水200mlに小さじ1杯が目安)を吹きかけて30分ほど置いてから水で流す。水分を拭き取りストッキングで磨く。水道の蛇口がピカピカに!

▽掃除の便利グッズ

- ①ストッキングハンガー
針金ハンガーを縦長に曲げ、使用済みストッキングをかぶせるだけ。静電気効果があり高所のほこり取りにぴったり!
- ②軍手ぞうきん
ゴム手袋の上に軍手を装着!雑巾のように使用でき、細かい箇所の掃除に便利。



普段手強い場所が楽にきれいになる感覚はとても気持ちいいです。皆さんもぜひお試しください。(井田)

一般職員向けのオンライン研修

ユニットケア基礎研修

【プログラム】13時~16時45分

【内容】ユニットケアの理念と特徴他(GWあり)

ユニットリーダー研修と同じテキストを使用。同じ講師が担当いたします。

令和6年4月より、介護職員は年2回の虐待防止研修の受講が義務化されます。

厚労省 虐待防止研修対応
虐待防止研修(Eラーニング)

1本1時間

Eラーニングなのでいつでも視聴可

2023年度 **友共事業**

共に作り、友に学ぼう、共に

ユニット型施設事例研究募集

募集期間: 2024年3月31日まで

テーマは自由!